

西濃農林事務所の普及活動状況

平成30年5月31日現在

今月の重点活動

■ なす **なす独立ポット耕栽培を実証中～JAにしみの海津なす部会～**

JAにしみの海津なす部会では、なす独立ポット耕栽培の実証に取り組んでいる（新技術導入普及支援事業）。実証ほは、4月1日に定植し、5月4日から収穫が始まった。5月上旬以降、気温が上昇し、水分不足によると思われる草勢低下が見られたが、給液濃度を薄めて灌水回数を増やすなど栽培管理方法を改善した結果、草勢は回復してきた。農業普及課は、給液の管理とともに、夏期高温対策としてタイベックシートをベンチ上に展張し、培地温上昇を防ぐ試験を行う予定。



【5/15の生育状況】

多様な担い手づくり

■ 梨 **第2回梨塾を開催**

農業普及課は、5月21日に大垣市ナシ生産連絡協議会と連携して、梨の栽培技術向上と経営安定を目的に第2回梨塾を開催し、梨農家の後継者候補である7名の受講生が参加した。大垣市曾根梨部会の農業者、農業経営課農業革新支援専門員、JAにしみの、農業普及課が講師となり、ほ場での栽培管理実習、病虫害防除、経営計画の作成に係る講義の他、大垣市曾根町に導入された根圏制御栽培法実証ほで情報提供を行った。

産地振興に関しては、第1回梨塾で実施したブレインストーミングで出されたアイデアをKJ法で収束し、短中長期の視点で取り組める項目を提案した。次回の梨塾は産地視察を予定している。



【ブレインストーミングの結果を説明】

売れるブランドづくり

■ 採種ほ **高品質種子の確保を目指して～小麦採種ほほ場審査（糊熟期）～**

農業普及課は、県米麦改良協会、全農岐阜、JAにしみの、農産園芸課の協力を得て、5月22日に小麦さとのそら種子ほ場審査（糊熟期）を実施した。管理状況は良好で、審査結果は全筆合格となった。農業普及課では今後、JAにしみのと連携して発芽試験を実施し、優良種子生産に取り組む予定。

主要農産物種子法が廃止されたが、種子の確保は農作物生産の基礎であるとの認識の下、種子生産の支援を継続する。



【小麦種子ほ場審査】

■ トマト **トマト栽培研究会を開催**

JAにしみの海津トマト部会は、5月18日、トマト栽培研究会を開催し、生産者及び関係者70名が出席した。農業普及課から、次年度に向けての資材消毒の徹底、有望品種の生育状況や管理方法、作業の省力化に向けたNターン誘引法について、情報提供を行った。

参加した生産者から、「土壌病害の発生したほ場では、土壌消毒以外でも資材の消毒の徹底を図ることが大変参考になった。」等の意見があった。また、有望品種については、試作試験の拡大が生産者から提案され、次年度の栽培で実証されることとなった。

今後も、巡回や栽培研究会等で、トマト生産振興を図っていく。

■ 玉ねぎ 研究会・目揃会を開催

4月24日、海津玉葱部会の出荷目揃会が行われ、今後の販売方針及び共選出荷規格の確認等が行われた。育苗期の天候不順により苗の確保が困難で、その後は低温・少雨で推移したため、冬期の生育は遅れ気味であった。2月下旬以降、気温は高く推移し、周期的な降雨があったが、収穫開始は遅れ気味となっている。抽苔やべと病の発生は少なかった。出荷は連休明けから始まり、月末にピークを迎えている。

農業普及課から今後の栽培管理と病虫害防除について講習を行うとともに、JA担当者との連携により独自 GAP チェックリストによる点検を行い、生産工程管理の徹底について啓発した。



【目揃会の状況】

■ 甘長ピーマン 目揃会を開催

海津地域の甘長ピーマンは3月22日から出荷が始まり、露地栽培も含め出荷量は順調に増加している。5月22日に海津甘長部会の出荷目揃会が行われ、今後の販売方針および共選出荷規格の確認等が行われた。30年産は、低温と気象の変動が激しく、栽培管理に苦労した場面があった。

農業普及課からは温度・土壌水分管理の徹底と病虫害防除対策、昨年発生の多かった「黒果」「尻腐れ果」対策について講習を行うとともに、栽培管理、出荷調製時の生産工程管理（GAP）について啓発を行った。

夏を感じさせる食材 甘長ピーマンは、5月末に本格的な出荷が始まり10月まで 昨年を上回る25,000ケースを目標とした生産が行なわれる。



【選果の目合わせ】

■ 茶 一番茶の刈取りが行われる～大垣市、垂井町～

不帰茶生産組合では、4月23日から5月11日まで一番茶の刈取りが行われた。春先の気温が高く推移し、平年より1週間早い刈取りとなったが、品質の良いお茶が生産できた。

大垣市上石津地区では、5月10日に恒例の多良小学校茶摘み体験教室（食農教育）が行われ、20kgを目標に手摘み収穫し、手もみ体験も行われた。

農業普及課では今後、難防除害虫であるクワシロカイガラムシの防除適期指導を行う予定である。



【茶摘み体験教室】

住みよい農村づくり

■ カミツレ 大垣カミツレ祭

大垣市薬草組合は5月3日に「第4回大垣カミツレ祭」を開催した。地域の自治会、(農)大垣南が協賛し、今年は大垣市制100周年の記念行事にも位置づけられた。

当日は(農)大垣南の格納庫と、北に広がるカミツレ畑（水田転作）が会場となり、収穫体験希望者が薬草組合のサポートを受けながら刈取り作業を行った。また、格納庫では祭の開会式が行われ、来賓あいさつのあと、日進小学校3、4年生による合唱で祭が始まった。農業普及課は薬草組合の活動を支援した。



【カミツレ収穫体験】